

【事業部】

「ワットリアップ育英基金」 伝達式を行いました

「ワットリアップ育英基金」に5万バーツを寄付し、タイ各地の公立学校から選ばれた240名の奨学生一人一人に奨学金を手渡す伝達式に参加しました。



6月22日(土)、日本人会チャリティー基金では、2001年より継続的に支援している「ワットリアップ育英基金」(奨学金支援)に、本年も5万バーツの寄付を行いました。

この基金は日本人納骨堂のあるワットリアップの前住職が逝去(1992年)された際に、住職の遺志を継ぎ設立(1994年)された基金で、本年は、バンコクや、スパンブリ県、ペツチャブリ県の公立学校21校の中から選ばれた240名に学資支援を行いました。

なお、6月22日は、ワットリアップ内の少年僧のための学校の創立記念日であり、それに併せて奨学金の伝達式が毎年行われています。



写真：瀬戸正夫、ムシカシントン小河修子



【事業部】 懇和会

松沢珠江

タイ国で健康に年を重ねる 腰の痛みや転倒の予防を中心にして

年をとると怖いのが転倒。
健康に年を重ねるコツを、田中繁治先生、井上優先生に
分かりやすく教えていただきました。

7月4日(木)、日本人会本館
にて34名の参加者が集まる中、
田中繁治先生、井上優先生によ
る講演会が開催されました。

年をとると一番怖いのが転倒
です。そこで健康に年を重ねる
コツを分かりやすく教えていた
だきました。

膝の痛みや転倒の予防法をや
さしく話していただき、2時間
ほどの講演が瞬間に終わり、
有意義な時間を過ごすことがで
きました。

筋肉を鍛えることや温熱療法
などで痛みが軽くなり、転倒の
リスクが軽減されますので試し
てみてはいかがでしょうか。年
をとると無理は禁物ですので、
少しずつ行ってください。

最後にそのための色々な体操
を教えてくださいました。その
ひとつ、足踏みと同時に数を
数えながら手をたたくなどの

体操は家の中でもできますね。
まずは楽しく少しずつ体を動か
して健康な毎日をお過ごしくだ
さい。

体操と共に大切なのが栄養を
とることで、忘れてはいけませ
ん。筋肉をつけるためには、タ
ンパク質、ビタミンDなどが必
須。身体に良い食品を選んで、
毎日の食事を大切にしてくだ
さい。

貴重なお話を聞く機会に恵ま
れ、参加者一同大変勉強させて
いただきました。
ありがとうございました。



2019年
すくすく会
わんぱく
ミーティング
夏祭り

【厚生部】すくすく会



お揃いの法被を着て、スタッフ一丸となって盛り上げました！



みんなで力を合わせておぼけをやっつけよう!!



バルーンお兄さんからたくさんのプレゼント！ どれにしようかな？



金魚釣りコーナー、何匹釣れるかな？



甚平とっても似合ってますね♡



みんなでアンパンマン首頭を踊りました



色をぬりぬり、シールをぺったん！
何ができるかな？

歌声にママも子どもたちの素敵な
聞き入っていました



みんな大好きアンパンマン
のお面とでんでん太鼓をも
らったよ！



7月12日(金)、日本人会
別館にてわんぱく夏祭りを
開催しました。
今年のわんぱく夏祭りには、
約50組のママと子どもたちが遊
びにきてくれました。スタッフ
のアイデアと工夫がまったげ
ーム、製作、写真コーナー、パ
ールンアートや歌のステージな
ど、盛りだくさんで大盛況の夏
祭りとなりました。

きっかけは タイ vol.5

タイから繋がるライフストーリー

6月3日、旅の始まり。
ジュネーブとリヨンの
間にあるフランス
の田舎町の駅で

田内洵也さん ◆ミュージシャン

多感な時期に

タイで音楽をした。

そこから今の僕が

始まっている。

ストリートライブ@バンコク

—音楽との出会いは？—

12歳の頃、音楽好きの姉が持っていたビートルズのCDを勝手に取り出して聴いた「レット・イット・ビー」に強い感銘を受けて、音楽に夢中になりました。

その後、新聞記者をしていた父がバンコクに赴任することになったので、僕は中学1年の時から卒業までバンコク日本人学校に通ったのですが、しょっちゅう家でビートルズの真似事をしていたら、アヤさん（お手伝いさん）が、アイはギターが安く買えるから買ってあげたらと親に言ってくれ、中1の秋、初めてのギターを手に入れました。

日本人学校では文化祭の前だけ学校にギターを持っていくことが許されていたので、買ってもらったギターを抱えていたら、僕の

クラスの担任がたまたまギターを弾ける先生で、基本コードを教えてくださいました。

—初舞台は？—

教本を読んで独習して、なんとか曲が弾けるようになった頃、当時毎年開催されていたカンチャナブリー県の乗馬キャンプに参加したので、その時です。友達からキャンプ場にギターがあるから弾けよと言う。それで初めて聴衆の前で演奏しました。その場にいたのは10〜15人くらいだったでしょう。歌ったのはレット・イット・ビーです。僕はそれしか弾けなかったです。それでもすごく喜んでもらえて、感動してくれました。ものすごく緊張しましたが、人前でやる快感を初めて味わった瞬間でした。

—それから頻繁に演奏を？—

学校の運動会の応援団で仲良くなった先輩にギター好きがいて、音楽仲間ができて、日タイハイフ



Junya Tauchi

1989年長野県生まれ、愛知県春日市育ち。父親のタイ赴任にともない中学1〜3年までバンコクの日本人学校中等部に在学。12歳でビートルズを聴いて感銘を受け、タイでギターを独習。在学中にバンコクでストリートライブを行う。日本の高校を卒業後、アメリカに2ヶ月の音楽修行。その後東洋大学に進学。在学中からライブ活動を行い、卒業後は都内を中心に年間300本以上の音楽活動をする傍ら、世界を旅しながら各国でライブを行っている。昨年アルバム『GITARMAN』をリリース。
公式WEBサイト：<http://tauchi-junya.com/>
公式YOUTUBE：<http://www.youtube.com/channel/UC-k3Wheop3N1faCBBeMGYDg>

のその先輩と連れ立ってクイーンシリキット公園やサイアムスクエア、チャトチャックの路上で演奏していました。初めて公園でギターを弾いた時「こういうことをしてもいいんだ」と驚いたことを覚えています。

演奏すると、僕たちのような中学生であつても、タイの人たちは拍手をしてギターケースにお金を投げ入れてくれる。タイの人は音楽に寛容です。一番多い時には1000バツになったこともありましたが、普通はだいたい100バツ程度。僕たちはそれでマツクのハンバーガーを食べて帰ってきました。

取り柄のない生徒だった僕が 日本人学校で褒められて

—どんな生徒でしたか？—

日本で地元の学校に行っていた時は、やりたいことがわからな

い、成績も最悪、部活もしていないという生徒でした。ギターなんてやるやつは不良というイメージもありました。ですがバンコクの日本人学校は、ギターを弾くことを肯定してくれた。それにギター以前に、音楽の先生が歌のテストの時、音程がしっかりしていると褒めてくれたんです。日本では何ひとつ褒められたことのなかった僕が。その時に得た自信がギターを始めるときかけのひとつだったと思います。

高校は日本で、帰国子女の多い愛知県豊田市の南山国際高校に入学しました。音楽もダンスも当たり前のこととして校内にあるリベラルな学校で、学校や駅前ライブする日々。その中で音楽をやっているという、この道で行こうと心を決めました。

卒業後は音楽の本場であるアメリカかヨーロッパに行きたかった

■来る11月3日に田内さんのライブがバンコクで行われます！

詳細が決まり次第、日本人会ウェブサイトとLINE(@nihonjinkai)でお知らせします。お楽しみに！

自分を変えてくれた場所

Q あなたにとってタイとは？



上：ギリシャのイカリア島で観光客と交流した友人のパーティー
下：アメリカのナッシュビルで知り合った友人とイカリア島に向かうフェリー

バンコクと世界と音楽と

——音楽性の変化は？

ビートルズから始まり、J・P・OP、カントリー、ブルース、それからジャズやケルトミュージックに関心が移っていきました。アイルランドなど土着の音楽に惹かれ、そういった音楽を自分なりに噛み砕いて取り込んできたのが今の僕の音楽だと思います。現地にやって聴き、自分でやってみて、息づかいやリズムを体感して自分なりのものにしてきました。

5年前にアメリカであるフランス人と知り合い意気投合し、ヨーロッパに行く時には彼がナビゲートしてくれました。今年も6月にフランスを皮切りにポルトガル、スペイン、ギリシャをまわり、地元のパブやライブハウスで演奏してきました。ヨーロッパ人にとって音楽は特別なものではないんですね。音楽に対するその感覚はタイ

ので、ギターを教えたりして渡航費用を貯め、アメリカで2カ月過ごしました。19歳の時です。帰国して2年後、東京の東洋大学社会学科に入学しました。敢えて音楽の大学を選ばなかったのは、音楽をやる人間は視野が広いほうがいいと思っただけからです。それはアメリカの音楽修行で得たことのひとつでした。

大学時代は、夜は音楽関係者の集まるバーで演奏し売り込みをし、大物ミュージシャンや業界人の中にいて、昼は普通の学生というシチュエーションな生活でしたが、その時に培ったコネクションが今の音楽生活のベースになっています。

また、タイに住んだことよって、日本人としての自覚、誇りを持ちました。それは世界各国でパフォーマンスをする上で、とても重要なことです。強いアイデンティティーを持っていないと、言葉の壁を超えた音楽はできないと思います。

——これからの夢は？

音楽があつたから僕は人と繋がることができました。今、自分を支えてくれるお店や地元の人たちに喜んでもらえるようなミュージシャンになりたいです。日本を拠点に世界を巡り、死ぬまで音楽をやっていったら幸せですね。音楽によって旅する人生を全うしたいです。

——ありがとうございます。



日本人学校時代、休み時間にギター演奏。下は文化祭





連載 73 最終回

マラツカとアユタヤー (3)

レヌカー・M

● 同時代人の証言 トメ・ピレス

アユタヤーについてこれまで、私たちが読んだ資料は全て、後世の人が書いたものであった。アユタヤー王朝年代記「プーサー」版は、最も史実に近い記録であると考えられているが、17世紀のナラーイ王の時代に書かれたものらしい。

思い出しても哀しいトライロークナー王の行政改革記録

青花麒麟文皿 景德鎮窯 明・正徳 (1506-21) リスボン、サントス宮殿 (p348 世界美術大全集 東洋編 第8巻 明 1999より) ポルトガルの首都リスボンを見下ろす丘上に建てられたサントス宮殿は、13世紀の修道院で16世紀にエマニュエル国王が購入して、宮殿にした。現在はフランス大使館になっている。その磁器の間に収められた明の青花器はエマニュエル王の「インドの海」の証人であるが、中でも明・正徳 (1506-21) 時代の4枚の大皿は、エマニュエル王の治世にポルトガルに将来された可能性がある…とギメ博物館のジャン・ポール・デロッシュは記す (P348 世界美術大全集 東洋編 第8巻 明 1999)。ということは、トメ・ピレスの叙述する中国との三角貿易の拠点アユタヤーからマラッカ経由でリスボンに運ばれたのであろうか。ポルトガルの代表する西洋世界は、マラッカの延長線上にアユタヤーと中国貿易を見たのだった。

は、王の名だけを遺して、本体は後世の改ざんであった。同時代人の証言を求めて、空しく唇を噛んだ思いは、ここで報われるのだ。

トメ・ピレス Tome Pires の記録 *Suma Oriental* (東方総記) はポルトガルによる1511年のマラッカ攻略の翌年に同地に赴任した商館員ピレスが1515年までに記したものとされている。そこには、シャム王国についての叙述もある。……と聞くと、嬉しいような、怖いような思いに襲われる。

● 貴族でなかった トメ・ピレス

まず、トメ・ピレスと *Suma Oriental* について話そう。出典は1944年出版の英語版の序文及び紹介文である。

The *Suma Oriental* of Tome Pires: An account of the East, from the Red Sea to Japan

Written in Malacca and India
in 1512-1515, Translated
from the Portuguese MS
In in the Bibliothéque de la
Chambre des Deputes, Paris
abd edited by ARMANDO
CORTESAO Asian Edicational
Service New Delhi 1990

トメ・ピレスはリスボンの庶民の出であった。30代半ばで妻を亡くし、彼女の弟を連れて、アルブケルケの艦隊に乗り込む。インドのコチンに着いたのは、1511年10月。翌年の5月にはアルブケルケの命でマラッカに赴く。マラッカ攻略の際の褒章人事の結果の汚職と不正を是正するためであった。マラッカまでの船路は海が荒れて、ピレスはポルトガルから携えた荷物（マラッカで販売するため購入した品々）を投げ捨てなければならなかった。

書記として着任して、3年。真面目に働いたが、自分の私的貿易でも小金を溜めたいらしい。ジャヴァへの船団にも加わり、そこでも薬を扱って、私的に裕福になったとされている。

義理の弟を熱病で失い、貯めた金もあるというところで、帰国の念が沸いた頃、親分アルブケルケが逝去する。何回かの要請にもかかわらず、昇給昇進をしてくれなかったアルブケルケに不満を持っていたトメ・ピレス

は、新しい総督の命令に従い、明朝への使節団の大使となる。それは不運の使節団であった。1515年に、マラッカを出た船団は難船で幾隻もの船を失った。トメ・ピレスと使節団が広東經由で北京に入ったのは1520年、5年かかったことになる。帰路、使節団は広東で投獄され、トメ・ピレスは1523年に獄死した。

トメ・ピレスの アユタヤー記述

Suma Oriental 中のシャム王国についての記述に移る。トメ・ピレスは難船を繰り返した中国への航海の途中で、アユタヤーへ入っている。しかし、Suma Orientalは、トメ・ピレスが中国大使に指名される以前に書き終わっていたと見られ、したがって、ピレスのアユタヤー見聞記は記録中にはないのだ。

これはマラッカという港市の商館員から見た、マラッカの元宗主国にして米の供給地であった港町国家アユタヤーとそこから到来する商品の記録である。シャムの港は3か所ある。ケダー、テナセリウムはアンダマン海で、ケダーはマラッカに近く、米が豊富である。胡椒も錫

も輸出するが、シャムの管理下にある。

王都はアユタヤーで、船の往来できる大きな広い川を遡った先にある。

アユタヤーは米が豊富で、塩、塩漬干魚、椰子の実、びんろう樹の実、野菜が栽培され、これらの荷を載せて、毎年30隻のジャンクがマラッカに寄港したものであった。

シャムからはベンガラ樹脂、安息香、蘇芳木、亜鉛、錫、金、銀、象牙、カシア類の鞣種、銅、金細工、ルビーとダイヤモンドの指輪、そして安価な織物も積んでくる。

マラッカからシャム船が積んで帰るのは、大勢の男女の奴隷たち、白檀、胡椒、水銀、朱色顔料、阿片、丁子、メース、ナツメグ、様々の幅のモスリン布、シャム向けの模様の入ったインド・クリン産の布、毛織布、白タカラガイ、蠟、ボルネオ産樟脳、敷物、グジャラート・カムベイ産の綾織布などであった。また、シャム人が仲介する中国産品はマラッカで高く売れた。

シャム人がマラッカに來なくなつて22年になる。宗主国であったシャムにマラッカが反乱したからという説、錫の奪いあいからという説も述べられている。

アユタヤーの港では、外国船が到來した品々は国王によって、安く買われた。それで行きながらない船も多いが、アユタヤーで代償に得る品々は価値が高いので、外來船は途絶えることはないとも書かれていた。

皮肉なことに…

やつとアユタヤーの船が運ぶ荷の話が出てきた。アユタヤーへ運ばれる舶來の荷、中国商品の三角貿易も語られた。蘇芳、ベンガラ樹脂、安息香と書いて、説明も加えたいが、その余地はない。

同時代の語り手トメ・ピレスを得て、より鮮明に見えてきた港町アユタヤーについて、そこで取引された品々、商取引に携わった多種多様な人々、その人たちの文化。具体的に見えてきたときに終わらねばならないのは残念であるが、編集会議で打ち切りを決めたとの説明を受けた。

「河の都アユタヤー」の連載はここで終わります。

※連載「河の都アユタヤー」は今回が最終回です。長らくのご愛読ありがとうございます。

(クルンテープ編集委員会)

五行歌

文化部では、国際結婚友の会が幹事となつて大口堂遊先生を囲んで「五行歌」の集いを開催しております。五行歌は、短歌や俳句のように「五・七・五」の縛りもなく「思いついた言葉を歌にすれば良い」ので、どなたでも参加できます。ご関心の向きは是非ご参加ください！お待ちしております。

今回、皆さんの提出された歌から堂遊選を掲載します。

(順不同・敬称略)

〈題〉雨季 七夕

大口堂遊

激しいスコールは
熱帯の象徴だった
いつのまにか弱弱しくなり
日本の豪雨禍の方が
こわーい
幾つになつても
どこにいても
童心に返つたふりして
七夕さまに
勝手なおねがい

川満 富子

令和というに
続く人身事故
幼子たちの痛々しい
被害に
眠れぬ夜を過ごす
短冊に託した
娘のダイエツト
成功！
前向きになり
夢広がる



森 妙子

アレアレ
ソレソレ
あの人の名前
エー！ト
皆さん大丈夫？
昭和、平成、令和
三時代
生き抜いてきた
山あり谷あり
平和あり

望月 久美子

高野山への道
濃い霧に包まれ
天空に
居るような
不思議な感覚

雨季到来
猛暑から逃れらると
喜んだのも束の間
どしゃぶりの雨で
バンコクは麻痺状態



二階堂 まゆみ

まだ三月
浅草仲店通り
並んで買った串団子
一緒に食べれば皆友人に見えてくる
だから美味しい

京都の三千本作善本鳥居
意を決して母と娘
急な石段を上る

茶屋で体を労わりながら
伏見稲荷の三時間

雅世 マヌータム

ふと静けさを感じ
窓の外を眺めれば
雑音を消すかのように
音もなく
優しく降る雨

新年号令和になり
令和らしからぬ事
続き
不安を感じる
新年号の始まり

日高 朝代

願い事を
短冊に書いて
笹の葉にむすぶ
幼いころの
思い出

朝家が出る時には
今日はいいい天気
雨がふって来た
窓閉めてこなかった
反省！

山川 喜美代

四季がないと
思いながらも
雨季に思う
ほっとする
タイかな

一日ずつの
積み重ね
七夕の日
思う月日の流れ
タイ暮らし早や三十年

イーブン 美奈子

どしゃぶりでも
逢いたくて
エムクオーテイエに
待ち合わせする
雨季
遠距離を来る
彦星のような
あなたの
フライト時刻を
秒読み



■連絡先(幹事)
川満 富子(081161113394)
雅世 マヌータム(081168215932)



『300年まえから伝わる とびきりおいしいデザート』

作/エミリー・ジェンキンス 絵/ソフィー・ブラッコール 訳/横山 和江

『はじめてのオーケストラ』 原作/佐渡 裕 絵/はたこうしろう

『でんでん どん』 作/井上 よう子 絵/渡辺 有一

『で〜てお〜いで〜!』 作・絵/あべ えみこ

『くだものだもの』 作/石津 ちひろ 絵/山村 浩二

『おしりたんていファイル(1)』

おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん』

作・絵/トロール

『おしりたんていファイル(4)』

おしりたんてい かいとうVSたんてい』

作・絵/トロール

『もうひとつのWONDERワンダー』

作/R・J・パラシオ訳/中井 はるの

物語

絵本

図鑑

『実験でわかる科学のなぜ?』

著者/コリン・スチュアート

監修/ガリレオ工房

★開館日は、火・水・金・土の10～16時です。(日本人会休館日は閉館)

★バンコク子ども図書館 ☎02-662-4950

★詳しい情報は、 www.facebook.com/kodomotosho をご覧ください。

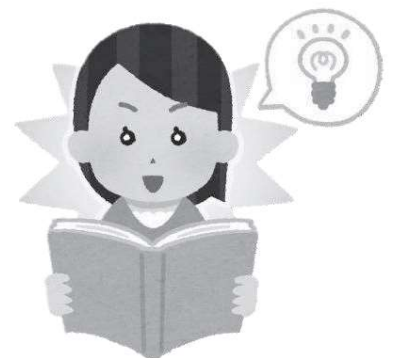


会報誌クルンテープは 2019年10月号より季刊誌として新しく変わります。

会報誌クルンテープは、2019年10月号より月刊誌から季刊誌として新しく変わります。また、時代に合わせたよりタイムリーな情報発信を強化していきます。クルンテープ誌は、在タイ日本人社会を繋ぐ情報誌として、1968年に第1号を発刊してから51年、これまで619号発行してまいりました。今後は時代のニーズに合わせ、会員様へよりタイムリーな情報をお届けすると共に、タイ国日本人会の活動を会員外の皆様にも幅広く知って頂くため、9月からウェブサイトのリニューアルし、LINE、Facebookでの発信を含め、情報発信を強化してまいります。特集記事や、同好会の活動、会員の皆様のお役に立つ情報などは、新しく生まれ変わる季刊誌クルンテープにも掲載してまいりますので、ご理解頂きたくお願いいたします。

ウェブサイトリニューアルに伴うSMSメールサービス廃止のお知らせ

新ウェブサイトでは、リアルタイムなイベント情報や最新情報、大使館情報はもとより、入退会のウェブ申請が可能になります。また会員番号でログインして頂くとマイページでイベントの申込や会員名簿、理事会の議事録の確認、住所変更などの手続きが容易となるよう準備を進めております。それに伴い、今までの紙での名簿の配布やSMS緊急メール配信サービスを廃止します。また準備が整いましたら、正式にご案内申し上げます。



タイ国日本人会 ゴルフ部 第711回月例会成績

日時 2019年7月21日(日) 場所 ラムルッカC.C.
参加人数名 58名 (Aクラス30名 Bクラス23名 査定1名 体験4名)

Aクラス		(平均スコア 88.20)					
順位	名前	OUT	IN	GRS	HC	NET	新HC
1	中澤 佳丈	40	41	81	11	70	祝10
2	工藤 智英	39	43	82	10	72	
3	大西 敏	42	42	84	11	73	
4	田中 康明	43	40	83	9	74	
5	渡邊 信二	39	39	78	4	74	

Bクラス		(平均スコア 95.91)					
順位	名前	OUT	IN	GRS	HC	NET	新HC
1	河野 豊	40	45	85	15	70	祝14
2	小幡 正純	43	43	86	15	71	祝14
3	澤田 徹	44	41	85	13	72	
4	原 勉	44	47	91	18	73	
5	細谷 知行	42	45	87	13	74	

査定ラウンド7月度は1名でした。

名前	OUT	IN	GRS	提出平均 GRS	提出推定 HC	新HC	新クラス
松岡 浩司	55	52	107	88.16	11-13	12	A

- 「ゴルフのルールを覚えたい」「競技ゴルフを楽しみたい」 ゴルフ部月例会で体験ラウンドに参加してみませんか！
ご興味のある方はメールまたはお電話でお申し込みください。 golfyoyaku@hotmail.com 062-709-0792迄
- 2015年7月例会よりハンデによるクラス分けが変更になりました。ハンデ12まで→Aクラス ハンデ13以上→Bクラス
- 月例会 ゴルフ部は、毎月第3日曜日にラムルッカCCにて競技会を行っております。
A・B各クラスの優勝者には SrixonSports(Thailand)Co.,Ltd.様よりボール1ダースを、
また、日本食レストラン 和食“庵寺”様より1,000バーツ分のお食事券をご提供いただいております。
ゴルフ部への入部は随時受け付けております。入部ご希望の方はゴルフ部のホームページをご覧ください。
- 月例会終了後、成績発表及び入賞者の表彰式を行っております。ぜひご参加ください。

ゴルフ部のホームページ(<http://www.jat-golf.org/>)で、月例会の成績、入部手続等々がご覧になれます。

発行 2019年9月1日
編集人 富永康行
発行人 タイ国日本人会
印刷・製本 YAMAGATA(Thailand)Co., Ltd.
発行所 Japanese Association in Thailand
1stFL. Sathorn Thani Bldg. II
92/2 North Sathorn Rd., Bangkok
10500 Thailand
Tel. 0-2236-1201
Fax. 0-2236-1131
E-mail : info@jat.or.th
www.jat.or.th
編集協力 Plant Planet Co., Ltd.
レイアウト OT Promotion Co., Ltd.

〈非売品〉
落丁・乱丁の場合、事務局にてお取替えします。
禁 無断転載

【編集後記】

微笑みの国タイに赴任して半年。体重が10キロも増えた。心当たりが多すぎる。運動不足もそうだが、一番の原因はモチ米ではなからうか。そう、やつだ。定番のカオニャオ・マムワン。ココナッツミルクを混ぜたモチ米にフレッシュなマンガローイ。ネットで調べると1食約1500キロカロリーーだとか。最近、ここにバナナアイスを追加することを覚えて私を誰か止めて欲しい。皆さんも健康管理にはお気をつけて。
(本業はダンサー)

●連載「河の都アユタヤ」が第73回目の今号をもちまして最終回となりました。長きにわたりご執筆くださいましたレヌカー・M様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
(クルンテープ編集委員会)

令和元年度チェンマイ修学旅行

バンコク日本人学校小学部 第6学年主任
猿田正人



「わあ、着いた!」
飛行機がチェンマイ空港に到着すると同時に、子供たちの歓声が自然と沸き起りました。チェンマイ修学旅行の始まりです。

令和元年6月24日(月)朝6時15分、バンコク日本人学校小学部6年生と職員合わせて260名のチェンマイ修学旅行団はスワンナプーム空港に集結。保護者に見送られながら出発しました。

宿泊ホテル

ホテルスタッフ、ガイド、ツアーリストポリスの方々に挨拶をして、チェンマイ修学旅行が始まりました。ホテルでは、ビュッフェ形式の食事をグループごとに円卓を囲んでの食事です。きれいな部屋で充実した2泊3日を過ごすことができました。



ワットドイステープ

1〜4組は1日目、5〜8組は3日目にワットドイステープを見学しました。両脇にそびえ立つヴァンダイナー(竜)に見守られながら長い石段を上っていくと、黄金に輝くドイステープ寺院に圧倒されました。展望台からの眺めは最高です。チェンマイの街や空港から離陸する飛行機を見て、歓声が上がりました。

メーサーエレファント キャンプ

5〜8組は1日目、1〜4組は3日目にメーサーエレファントキャンプを見学しました。タイと言えば象。家族と象乗りを体験したことはあるかもしれませんが、友達と乗る象は格別です。



ナイトサファリ

子供たちに人気が高かったイベントです。トラムに乗って、動物園を一回りする途中には、キリンが迫ってきます。子供たちではなく、子供たちが持っているえさを目掛けて……「パクツ」。間近にキリンを感じ、子どもたちは大興奮でした。



メーゲットノイ村

2日目には、村の民家を訪問させていただきました。高床式の住居は、子供たちには新鮮だったようです。家の造りや生活様式に興味津々。また、「サーイスイン」というお守りを手首に着けていただきました。子供たちの笑顔に村の方もうれしそうでした。



メーゲットノイ校との交流学習会

村のお宅訪問の後は、学校との交流学習会です。チェンマイ修学旅行の中心的活動です。交流会のために、5月から準備をしてきました。鐘の音に導かれ、メーゲットノイ校の友達が並んだ長い花道を通り抜けると、舞台の上で歓迎の式典が始まりました。開会式の後は、文化交流です。昔ながらの遊び「とんとん相撲」を紹介し、一緒に折り紙で力士を作りました。お互いが温かく触れ合う姿が見られました。メーゲットノイ校の子供だけでなく、日本人学校の子供たちも楽しむことができました。メーゲットノイ校からは、「タイ舞踊」を教えてもらいました。

閉会式では、プレゼント交換をし、日本人学校からお礼として「フラッグを使ったダンス」

「空手の演舞」「おぼろ月夜のリコーダー演奏」を発表しました。最後には、「思いやりの花」を日本語・タイ語で合唱しました。チェンマイでの心温まる交流学習会は一生忘れよう。



M バーンタワイ

2日目の午後は、1〜4組と5〜8組に分かれての活動で

す。バーンタワイは、木製の民芸品を売る商店街です。この日のために、タイ語の授業で学んだ「値切り会話術」が大活躍。お店の方も子供たちの元気に圧倒され、いつもより多めに値引きしてくれました。



A サイアムセラドン

バーンタワイと入れ替わって、サイアムセラドンではセラ

ドン焼きの絵付け体験をしました。学校で下がきを準備してきた子供たちは、丁寧に絵付けをしました。世界に一つだけのセラドン焼きです。絵付けされた皿は、本焼きをして後日送られてきます。届いた皿を開封した時、再びチェンマイ修学旅行の感動が蘇ってくるでしょう。

🗝️ 無事帰着

そして、これから

3日間、晴天に恵まれ、すべての行程を終えた6月26日(水)。無事にバンコクに帰ってきました。2泊3日のチェンマイ修学旅行は、忘れられない思い出になりました。しかし、6年生にとっては通過点です。3月の卒業式、そして中学校進学に向けて、これからも挑戦していきます。

子供たちの感想

6年1組 青木芽莉

この3日間、思い出に残ることがいっぱいでした。特にメーゲットノイ校との交流では、うまくタイ語が通じないこともありましたが、ジェスチャーなどをして何とかコミュニケーションをとることができました。ここ、タイだからこそつくれる思い出だと思います。

6年2組 東條真人

チェンマイは物価がとても安く、みんな優しくかったです。お

土産を買うとき、何も言わないのに値下げしてくれたり、交流会でたくさん笑顔になつてくれたりしました。本気でやったフラッグダンスも、少し失敗をってしまったけれど、たくさんの拍手がもらえて嬉しかったです。

6年3組 稲毛大晃

エレファントキャンプで象に乗りました。山道だからかすごく揺れて怖い映画を見ているようでした。でもそれが最高に面白かったです。3日間を振り

返ると、「帰りたくない!」と思うほど楽しかったです。友達と離れがたい気持ちになりました。

6年4組 中村蘭子

交流係では、タイ語をたくさん使うことが目標でした。交流学習会本番では、話すことすべてをタイ語で伝えることはできなかつたけれど、楽しそうにとんとん相撲をしてくれてうれしかったです。修学旅行で学んだたくさんのお話を忘れず、次

に生かしたいです。

6年5組 松田良大

メーゲットノイ校との交流学習会では、今までの準備・練習の成果を発揮し、タイの友達に楽しく日本の文化を伝えることができました。修学旅行では、日本やバンコクではできない貴重な経験をすることができ、心に残る修学旅行となりました。

6年6組 大岡空藍

メーサーエレファントキャン

CHIANGMAI



①宿泊ホテルでビュッフェ ②ワットドイステープ ④メーサーエレファントキャンプ ⑤ナイトサファリ ⑥メーゲットノイ村でサーイスインを結んでもらう ⑦～⑩メーゲットノイ校との交流学習会 ⑪バーンタワイでお買い物 ⑫サイアムセラドンで絵付け

プでは、象にえさをあげたり、乗って山道を登ったりしました。ナイトサファリでは、夜に動物たちがどのような行動をしているのかがよく分かりました。たくさんの動物とふれ合うことができてうれしかったです。

6年7組 豆田匠音

メーゲットノイ校の友達と、とんとん相撲とタイの踊りをしました。タイ語での説明は難しかったので、身振り手振りで伝えました。伝えられたときは本当にうれしかったです。人は、言葉は通じなくても心は通じると思いました。

6年8組 樋口真優

チェンマイは山などの自然が多いので、バンコクと比べてとても静かで景色がきれいでした。また、チェンマイの人たちは私たちにとても優しく接してくれて、とても嬉しかったです。交流学習会では「始めの言葉」を担当し、本番はリハーサル以上に緊張したけれど、ゆっくりに落ちて言えたので良かったです。

● キッズルームSP



今回も沢山のお子様もキッズルームスペシャルに遊びに来てくれました。ポップアップ式の遊具やパラバルーン、簡単な工作などいつもとは違うキッズルームを楽しんでいました。皆さんぜひ遊びに来てくださいね♪

…………… 7月9日(火) 投稿/東 朋子



● えいごで遊ぼう!

毎回大盛況の『えいごで遊ぼう!』今回は2人の先生を迎えて、歌や音楽に合わせて、楽しくテンポ良く英語で遊びました♪ また次回も是非遊びに来てくださいね。

……………7月18日(木) 投稿/E.H



● カキ氷手形アート

夏らしいカキ氷の手形アート製作をしました。「わぁこんなに手が大きくなったのかー!」と驚かれる保護者の方もいらっしゃいました。皆さん思い思いの作品を作って楽しいひとときを過ごしました。…………… 7月20日(金)

投稿/向井 愛



出産準備教室の 「母親教室」「両親学級」

日程など詳細についてはホームページをご覧ください
<https://syussanmeeting.wixsite.com/syussanbkk>

すくすく会のホームページ

詳細・お申し込みはこちらから
<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>



● 0歳児集まれ!



初開催のイベントに沢山の親子が参加してくれました。自己紹介、読み聞かせ、手遊び、おしゃべりとあつという間の1時間でした。

…………… 6月25日(火) 投稿/井上 愛

● カエル足形アート



梅雨の季節にちなんだ製作をしました。足形を取る際の子どもの興味津々な様子が印象的でした。可愛いお子様の足形で作るアート作品が皆様の記念になれば嬉しいです。

……………6月28日(金) 投稿/向井 愛



● タイ語で交流しよう

バンコクで暮らすママを対象に、生活に便利なタイ語を使ってみるイベントを初開催しました。マンガの食べ比べや、タクシーで使える便利な表現などを学びました。……………7月2日(金)



すくすく会通信

Vol.17

おっぱいミーティング

妊婦さんには授乳についての講義を、産後のママさんには育児についての様々な悩みや疑問を、スタッフの体験談を交え座談会形式で行っています。基本的に、毎月第3火曜日に、サミティバート病院で開催。

● 今後の予定

9月17日(火)
10月15日(火)
11月19日(火)
12月17日(火)



ぐんぐん、大きく育っているよ♪
みんな遊びに来てね

Look



わんぱくミーティング

● わんぱく夏祭り

7月12日(金)に日本人会別館にてわんぱく夏祭りを開催しました！約50組のたくさんのお子さんとお母さんが遊びに来てくれました♪……………7月12日(金)

● 今後の予定

9月12日(木) 離乳食ミーティング ※要予約
9月17日(火) わんぱく合同ミーティング
10月15日(火) わんぱく合同ミーティング
11月12日(火) わんぱく合同ミーティング
11月14日(木) 離乳食ミーティング ※要予約



わんぱく
夏祭り



すくすくだより編集部

■ 主婦ライター募集!

すくすくだより編集部では、一緒にすくすくだよりを作ってくれる仲間を募集しています！「バンコクすくすく会」はタイ国日本人会の活動の一環として、バンコクでの出産・子育てのサポートをすべく主婦ボランティアによって運

営されています。すくすく会員にお届けする情報誌『すくすくだより』を作るために編集部員は新しいことに色々挑戦し、情報収集をしています。来タイ1週間！妊婦さん！子どもがまだ1カ月！などどんな方でも大歓迎です。ぜひ一度見学に来てください。スタッフ特典として、すくすく会年会費免除の他に慰労会もありますよ！

■ 次号のお知らせ

10月号(NO.210)は「子連れ旅行記」。編集部スタッフが、この1年で行ったタイ国内外の旅行体験記を大発表！子どもを連れて皆どこに行ったの？あなたの旅行にお役立てください。子育てコーチングでお馴染みのひろっしゅコーチこと、山崎洋実さんのコラムも好評連載中です！

■ 編集部遊びに来ませんか?

9月18日(水)は「すくすくだより 子連れ旅行記」の入稿作業。10月4日(金)はおしゃべりサロン「テーマ：一時帰国のお土産(仮)」を開催します。編集部員がおすすめ土産を持ち寄り、紹介します。皆さんの参加をお待ちしています。いずれも日本人会別館で9:30から。興味を持たれた方は、sukusukudayori@yahoo.co.jpまたはFacebookのすくすくだより編集部へメッセージをください。

投稿/高山容子



ママの会議中、
チビっ子たちは遊び疲れて夢の中

キッズルーム

● ひよこのへや

今回は足形でマンゴーを作りました。月齢に近い赤ちゃん同士おててを触って交流していて微笑ましかったです。6カ月までの赤ちゃん&ママ、気軽に遊びに来てくださいね。……………6月21日(金) 投稿/井上 愛



● 出張似顔絵屋たとと

毎月大好評のイベントです。今月もたくさんの親子にご参加いただきました。大人気のワイのポーズやバースデーケーキバージョンなど、可愛い似顔絵にお子様もママも大満足♪ぜひ遊びに来てくださいね。……………6月21日(金)

炒りたてのココナッツがたつぷりの香ばしい焼きメレンゲ

カノム・ソーンマナット

「タイ菓子の記事を書いているのなら、これはどう？」と、棚の袋を手にとったのは創業50年の老舗ワンダムロン (wandamrong※) の二代目シリラックおばさん。袋はカサツと軽く、中身は少し茶を帯びた軽石のようにも見えます。映えないしタイ菓子らしさにも欠けるのではないかと引く私の心を見透かしたかのように

「よい意味の名前を持つ伝統的なお菓子なのですけどね」と脇から推すのは三代目のオーさん。ソーンマナットには「幸せ」「悦び」という意味があるそうなのです。あれやこれやと話しているうちに、そんなに関心があるなら、と日を改めて製造工場を取材させていただけることになりました。

ソーンマナットは泡立てた卵白に、炒ったココナッツをたつぷり加えた焼きメレンゲです。表面はさくつと軽い口当りで中は柔らかく、すつと溶けるメレンゲと対照的に口の中に残るココナッツが香ばしい。この



左：しっかり角のたつ卵白に香ばしく炒ったココナッツを混ぜる
下：香づけの蠟に火をつけフタをし、煙で香りをつつす



焼き上がったばかりのカノム・ソーンマナットขนมไสมนัส。奥はメレンゲ

店では、焼けたらいったんオーブンから出してひっくり返し二度焼きに。まんべんなく熱を加えるための工程です。最後の仕上げに、フタつきの鍋に入れ、ティアンオップという蠟で燻し、タイ菓子特有の香りをつけます。ティアンオップにはジャスミンなどの花とともに竜腦(ボルネオール)という樟腦に似た香りの成分も含まれているので、お香や線香を思わせる香りで、好き嫌いの分かれるところ。一般のレシピには燻しの工程がないものも多いようです。

おいしさの必須条件は材料の新鮮さ。卵もしっかりココナッツもしかり。特にココナッツは香りのよい炒りたてが好ましく、店では前日に削って炒ったものだけを使っているそうです。

辞典を繰ると、ソーンマナット ไสมนัสは昔、コーマナット ไทเมันตと呼ばれていて、コーマナットは英語のココナッツ coconut がタイ語化した言葉とのこと。それがいつの頃からか「コー」が「ソーン」になり目出たい名前と呼ばれるようになったことが分かりました。

連載 59

タイのお菓子は二度おいしい



SECOND HAND STORE



売れるものは何でも買わせていただきます。



買取 รับซื้อ

持込み大歓迎!
出張買取喜んで!!
もちろん査定無料です。

- Brand name items
- Fashion items
- Furniture
- Home Electronics
- Table ware, Toy, etc.

日本語でお気軽にお問い合わせ下さい♪

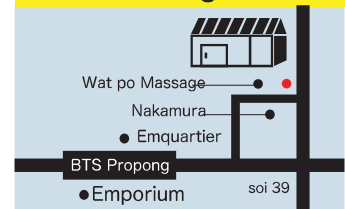
出張買取に関するお問い合わせ、ご予約

080-239-7222 または 083-615-6333

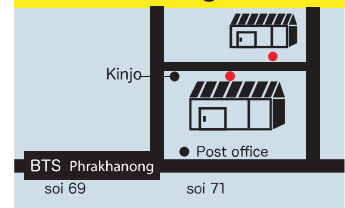
持ち込み買取、ブランド品、時計、貴金属に関するお問い合わせ

092-251-0944 または 083-615-6333

PhromPhong Branch



Phrakhanong Branch



Open Every Day

10:00 - 20:00

